



奈良県感染症情報

令和3年第22週(5月31日～6月6日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報
- 変異株 PCR 検査の実施状況

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	RS ウイルス感染症	7.38	(10.65)	↗	↗	→	↑↑
2	感染性胃腸炎	4.03	(3.76)	→	↗	→	→
3	咽頭結膜熱	0.79	(0.85)	↑	→	↑	↑↑
4	突発性発しん	0.32	(0.32)	→	↘	→	↓
5	手足口病	0.21	(0.18)	↑	↑↑	→	→

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

RS ウイルスの感染症の報告数は、引き続き高い水準で推移しています。また、夏に流行する感染症である咽頭結膜熱や手足口病の報告数も増加しています。流水と石けんによる手洗い、タオルやおもちゃの共有を避けるなど、感染予防対策に努めましょう。

第22週の新型コロナウイルス新規感染者数は133名と少しずつ減少しています。飛沫感染を防ぐためのマスク着用、マイクロ飛沫感染を防ぐための換気、そして接触感染を防ぐために手指やモノの消毒や洗浄を行うなど、ここで油断することなく注意を継続し、更なる改善へご協力をお願いします。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(田中小児科医院)

外来患者数がやや増えてきている。
 感染性胃腸炎が増えている。嘔吐が主体で、水様性下痢が目立たない患児も多い。
 各種迅速検査が陰性で、5日程発熱が続く例が散見される。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

外来数は増加。発熱、咳嗽の幼児が多い。RSVが流行中で同胞例もあった。
 感染性腸炎の流行が持続、水様下痢例もあった。流行性耳下腺炎が数例あった。
 水痘、ヘルパンギーナ、手足口病等は今春見られていない。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

RS ウイルス感染症、肺炎球菌感染症が増加している。肺炎球菌感染症は予防接種済みの幼児も感染し、肺炎併発入院事例もみられる。感染性胃腸炎の流行は継続、ノロウイルス感染に加え、各種迅速検査に反応しないウイルス性胃腸炎疑いが増加している。

COVID-19の小児例も散見されている。家庭での感染で、保育所でのクラスターには至っていない。

❖ 変異株陽性者数・PCR 検査の実施状況 ❖

検査実施週	変異株PCR検査数			変異株陽性者数			国立感染症研究所におけるゲノム解析結果(判明数のみ)			
	(内)スクリーニング検査	(内)疑い検査		(内)スクリーニング検査	(内)疑い検査		アルファ株	ベータ株	ガンマ株	解析不能
3月5日～5月16日	1336	1241	95	1107	1021	86	437	0	0	37
5月17日～5月23日	155	155	0	143	143	0	23	0	0	6
5月24日～5月30日	70	70	0	68	68	0	6	0	0	1
5月31日～6月6日	51	51	0	46	46	0	0	0	0	0
合計	1612	1517	95	1364	1278	86	466	0	0	44

アルファ株: 英国で最初に検出された変異株
 ベータ株: 南アフリカで最初に検出された変異株
 ガンマ株: 日本でブラジルからの渡航者に最初に検出された変異株

スクリーニング検査: 検査可能なCT値35以下の検体を対象に検査を実施(変異株陽性患者の濃厚接触者等を除く)

疑い検査: 変異株陽性患者の接触者を対象に検査を実施

解析不能: 変異株陽性と判定し、国立感染症研究所へゲノム解析を依頼したもののうち、ウイルス遺伝子のコピー数が少なく、解析不能であった数

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 3 年 第 22 週 5 月 31 日 ~ 6 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4	
インフルエンザ								
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	251 (7.38)	33 (3.67)	42 (4.67)	66 (9.43)	106 (17.67)		4 (2.00)	
咽頭結膜熱	27 (0.79)	2 (0.22)	2 (0.22)	16 (2.29)	6 (1.00)		1 (0.50)	
A群溶連菌咽頭炎	6 (0.18)	2 (0.22)	1 (0.11)	2 (0.29)			1 (1.00)	
感染性胃腸炎	137 (4.03)	16 (1.78)	26 (2.89)	21 (3.00)	63 (10.50)	1 (1.00)	10 (5.00)	
水痘	3 (0.09)		1 (0.11)	2 (0.29)				
手足口病	7 (0.21)	3 (0.33)	2 (0.22)	1 (0.14)	1 (0.17)			
伝染性紅斑								
突発性発しん	11 (0.32)	3 (0.33)		3 (0.43)	5 (0.83)			
ヘルパンギーナ								
流行性耳下腺炎	1 (0.03)			1 (0.14)				
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	2 (0.20)	1 (0.33)		1 (0.50)				
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎	1 (0.17)				1 (1.00)			
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎								
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核5件(奈良市3、郡山1、中和1)
3類感染症	
4類感染症	レジオネラ症1件(中和1)
5類感染症	水痘(入院例)1件(中和1) バンコマイシン耐性腸球菌感染症1件(郡山1)

❖ 第22週のトピックス ❖

◆新型コロナワクチンについて(2021年6月6日現在)(国立感染症研究所)
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov/2484-idsc/10423-covid19-39.html>

◆腸管出血性大腸菌感染症 2021年3月現在
 (IASR Vol. 42 p87-89: 2021年5月号)
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/ehc-m/ehc-iasrtpc/10386-495t.html>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
 旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
 (下段): 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計	
インフルエンザ	男女																						1	
RSウイルス感染症	男女	5 11	14 13	36 24	28 31	29 15	12 16	10 6	1														135 116	744 660
咽頭結膜熱	男女			2 7	4 6	2 2	3			1													11 16	161 96
A群溶連菌咽頭炎	男女					1	1		2	1				1									2 4	180 149
感染性胃腸炎	男女		6 2	20 11	9 10	11 9	11 1	6 3	3 3	7 1	1 1	5 2	2 4	1 2	1 5								83 54	1100 943
水痘	男女											2											2 1	21 22
手足口病	男女			1	3	2					1												6 1	15 10
伝染性紅斑	男女																							1 3
突発性発しん	男女		1	3 5	1	1																	4 7	149 122
ヘルパンギーナ	男女																							4 7
流行性耳下腺炎	男女										1												1	14 5
急性出血性結膜炎	男女																							1
流行性角結膜炎	男女														1			1					2	32 9
細菌性髄膜炎	男女		1																				1 3	2 3
無菌性髄膜炎	男女																							2 1
マイコプラズマ肺炎	男女																							1
クラミジア肺炎	男女																							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男女																							1 1

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

